

## 事業所職員向け児童発達支援自己評価表

『児童発達支援ガイド』に基づいて自己評価を実施し、さくらんぼ園の工夫点と今後の課題について整理しました。ご意見、ご相談がございましたら職員までお声かけください。

項目	番号	チェック項目	はい (%)	いいえ (%)	不明 (%)	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	100	0	0	適切な人数設定となるようグループ編制を工夫している。子どもの状況に応じて場所や遊びの順番を設定している。
	②	職員の配置数は適切であるか。	91	9	0	基準を満たした上で十分な配置となっており、マンツーマン対応を基本にしている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	100	0	0	環境は良く、どの児童にも分かりやすい空間である。スケジュールの提示やシンプルな環境設定など、視覚的支援等を利用し、利用者に合わせた遊具の設定をしている。非常事態に備え、館内アナウンスができる装置があればなおよい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	91	9	0	日々の清掃や季節に合わせた室温の調整ができています。また、状況に応じて適切な片付けや整理整頓している。身体を動かす場所、集団で活動する場所など、活動内容を分かりやすくする工夫をしている。特にほこりなどがたまりやすい部屋は、清潔な状態を保つための工夫を検討したい。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための P D C A サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100	0	0	共通認識のもとで進められるように振り返りは日々丁寧に行っている。各自の目標設定において、もっと具体化・明確化していけばさらなる効果が期待できる。わからないことは、先輩職員などにお聞きして解決できるようにしている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	91	0	9	年度末に保護者による評価を実施している。そこで把握した意見等に対しては園内で時間をかけて協議し、改善に努めている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	91	9	0	次年度の運営をよりよくするため、毎年度末に保護者等向け評価表同様に実施し、ホームページに掲載している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	27	46	27	過去2回実施した。今年度については、費用の関係もあり見送っている。できるだけ費用を抑えて実施できる方策を検討したい。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会	100	0	0	定期的に研修の案内があり、参加する機会も多く感じる。

		を確保しているか。				また、関係機関から講師を招聘し、よい学びにつながった。適性や今後の見通しを考慮し、次年度さらに充実させる方向で検討している。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	82	9	9	職員全体ですべての子に対応できることを目指して実施している。アセスメント方法の学びをさらに深めることが、今後必要である。様式の見直し、記述内容の具体化、療育システムの活用等について再確認し、より確実な見立てにつなげていく。
	⑪	子どもの適応行動の状況をはかるために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	36	55	9	NCプログラムをツールとして活用している。また、必要に応じて保護者や関係機関から得た情報も参考にしている。K式発達検査等の標準化されたものを今後取り入れていくことを検討している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	72	28	0	支援において、5領域（※）を全て含めた総合的な支援を提供することを基本とし、支援内容について事業所の個別支援計画等において5領域とのつながりを明確化した上で提供することに十分とは言えないが努めている。 ※「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	91	0	9	計画に沿った支援はもとより、日々の療育において子どもの様子や変化を捉え、実態に応じた支援が展開できるよう努めている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	82	9	9	グループごとにリーダーが責任を持って案を立て、進めている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	82	9	9	遊びや題材・教具は子どもの発達や実態、季節等に合わせて変えている。タブレット端末を有効活用し、工夫を凝らしたプログラムになっている。 全体の流れは、固定化しているため、ソーシャルスキルトレーニングや園外活動等を取り入れることも今後検討していきたい。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	82	9	9	担当者が責任を持って立案し、子どもの実態に合わせてながらグループでできることを組み合わせる療育を進めるよう考えている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	82	9	9	非常に念入りな打合せをするとともに、役割分担を確認し合っている。その中で意見や疑問を出し合い、個別の対応や集団での遊び方などを相談するようにしている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	82	9	9	上記同様、細かい打合せを行っている。必要に応じて療育場面の動画を撮影し、気づいた点や改善点を確認して共有している。また、スーパーバイザーに週2回参観していただき、助言を得ながら振り返りを行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底	91	9	0	職員全員で共有できる文書や動画による記録を残し、支援内

		し、支援の検証・改善につなげているか。				容の改善につなげている。また、ポイントを明確にし完結に記録することを心がけ、その日のうちに全員分が書けるようにしている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	91	9	0	相談支援専門員が中心となり、モニタリングをして検討している。 支援計画作成時期などの見直しを検討したい。
関係 機	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	55	45	0	会議として位置づけてはいないが、個々のケースに応じて実態や現状等について情報共有している。他の事業所で計画書を作成されている方については、児童発達支援担当者を招集されたことがない。その代わりに電話や文書による情報収集をしている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	100	0	0	幼稚園、保育所（園）、こども園、学校、医療機関、市の担当課等と連携をとり、情報共有に努めて支援を行っている。
関 や	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	91	0	9	必要に応じて連携を図っている。
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	91	0	9	地域の学校や支援学校から来園いただくとともに、療育見学や懇談等の案内も行い、積極的に実施している。
保 護 者 と の 連 携	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	82	18	9	地域に児童発達支援センターがないため、子ども支援課や乳幼児教育センターと連携した形で進めている。 隣接する市の児童発達支援事業所を視察し、取組等について学ばせていただいた。 今年度は、医療専門職派遣研修を実施した。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	91	0	9	迎えに来られたとき、療育の様子や成長した点、家庭で取り組んでいただきたいこと等を伝え、共通理解できるように努めている。
保 護	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。	82	18	0	講師を招聘し、保護者学習会を実施した。次年度以降も内容を拡大して実施していきたい。 療育時に、各グループの子どもの実態に保護者に応じて、母親教室を実施した。
	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	91	0	9	インテークの際に、説明及び書類をお渡しして説明しているが、欠席時加算について問合せを受けたこともある。そのため、有料利用者には特に詳しい説明が必要である。
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	91	0	9	個に応じて、保護者の願いをもとに目標や方向性、具体的支援内容を示した計画書を作成し、サインをいただいている。 今後もガイドラインに基づき計画作成に努めたい。

者 へ の 説 明 責 任	③⑩	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	82	9	9	毎日の送迎時に話をするほか、療育時や個人懇談、母親教室等の時間を設定して相談に応じている。保護者研修会等でも行っている。
	③⑪	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	73	18	9	保護者向けの学習会や交流の機会、母親教室などを開催した。
	③⑫	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	91	0	9	すぐに対応できる内容については、日々様々な場で応じている。複雑な内容や込み入った事象については、職員間で検討し、改善策を十分練った上で対応している。
	③⑬	定期的な会報等の発行及びホームページの更新により、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	91	9	0	不定期ではあるが、写真とともに療育や行事の様子を通信やホームページに掲載している。園の便りは昨年度より発行回数を増やすことができた。
	③⑭	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	100	0	0	機会あるごとに、守秘義務も併せて事例を挙げながら注意喚起している。
	③⑮	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	91	0	9	丁寧に話をしたり、タブレット端末で写真や動画を示しながら伝えたりしている。
非 常 時 等 の 対 応	③⑯	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	27	55	18	選挙がある場合は、投票所として利用していただいている。園行事への招待はしていないが、川掃除や事業所周辺のごみ拾い、除雪などを行うことで地域活動に参加している。
	③⑰	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	91	9	0	訓練の実施同様マニュアルも作成しているのでホームページにアップし、周知していきたい。
	③⑱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	91	9	0	定期的とは言えなかったが、消防署や警察署の協力を得ながら、計画的に実施した。今後もより安心・安全な備えに努めたい。
	③⑲	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	91	0	9	インテーク後、担当者から情報を得ている。また、児童調査表の提出や保護者への聞き取りで確認している。
	④①	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	73	18	9	報告様式を作成している。事象自体は少ないが、起こったものについては職員朝礼で共有し、再発防止に努めている。
	④②	虐待及び身体拘束を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	91	0	9	法人全体の指針及び園独自の指針を作成し、それらをもとに研修の機会を確保している。また、Web等を活用し実施している。
	④③	やむを得ず身体拘束を行う場合、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか。	55	9	36	現在、身体拘束が必要であると考えた利用者はいない。今後、必要に応じて、適切に対応していく。